

# 【補足】補助対象経費の金額について ※申請1年目の場合

協働補助金では、補助対象項目のうち

報償費・備品購入費は、補助対象経費の1/2 を上限としている。

※この上限額の考え方については、以下の例を参考としてください。

なお、以下の例においては、備品購入費の上限額を例示しています。  
(報償費の上限額の考え方も同じです。)

項目	補助対象経費
報償費	外部講師、協力者等の謝金 ※補助対象経費の1/2を上限とする
旅費	外部講師、協力者の交通費、宿泊費等
需用費	消耗品費 燃料費 印刷製本費 食糧費等 ※食糧費は、補助対象事業に不可欠とされるものに限る
役務費	広告費 通信運搬費 保険料 手数料
使用料及び賃借料	会場使用料 機械の借上料等
備品購入費	取得価格が1万円以上のもの ※補助対象経費の1/2を上限とする
その他の経費	その他市長が必要と認める経費

①補助対象経費の  
総額の1/2

または

②補助金額の  
上限額の1/2

の

何れか  
金額の低い方

## 《ケース1》 補助対象経費総額<20万円、備品購入費<10万円

科目	金額(円)	備考
報償費 (謝金)	47,000	外部構成員謝金
旅費	12,000	
消耗品費	12,000	
印刷製本費	21,000	
<b>備品購入費</b>	<b>90,000</b>	
合計額	182,000	

① 総額182,000円  
1/2⇒91,000円

②補助金額上限  
1年目200,000円  
1/2⇒100,000円

➡上限額は、  
①91,000円

上限額に満たないため、  
満額 補助対象

科目	金額(円)	備考
補助金	182,000	
自己資金	0	
合計額	182,000	

## 《ケース2》 補助対象経費総額 > 20万円、備品購入費 > 10万円

科目	金額(円)	備考
報償費 (謝金)	18,000	外部構成員謝金
消耗品費	20,000	
印刷製本費	20,000	
<b>備品購入費</b>	<b>180,000</b>	
合計額	238,000	

科目	金額(円)	備考
補助金	158,000	
自己資金	80,000	備品購入費-100千円
合計額	238,000	

- ① 総額238,000円  
1/2⇒134,000円
- ②補助金額上限  
1年目200,000円  
1/2⇒100,000円

⇒上限額は、  
②100,000円  
(自己資金80,000円)

## 《ケース3》 補助対象経費総額 < 20万円、備品購入費 > 10万円

科目	金額(円)	備考
報償費	20,000	
<b>備品購入費</b>	<b>160,000</b>	
合計額	180,000	

科目	金額(円)	備考
補助金	110,000	
自己資金	70,000	備品購入費-90千円
合計額	180,000	

- ① 総額180,000円  
1/2⇒90,000円
- ②補助金額上限  
1年目200,000円  
1/2⇒100,000円

⇒上限額は、  
①90,000円  
(自己資金70,000円)

## 《ケース4》 補助対象経費総額 > 20万円、備品購入費 < 10万円

科目	金額(円)	備考
報償費	70,000	
消耗品費	20,000	
調査委託費	80,000	土壌分析費用
<b>備品購入費</b>	<b>70,000</b>	
合計額	240,000	

科目	金額(円)	備考
補助金	200,000	
自己資金	40,000	
合計額	240,000	

- ① 総額240,000円  
1/2⇒120,000円
- ②補助金額上限  
1年目200,000円  
1/2⇒100,000円

⇒上限額は、  
②100,000円

上限額に満たないため、  
満額 補助対象